

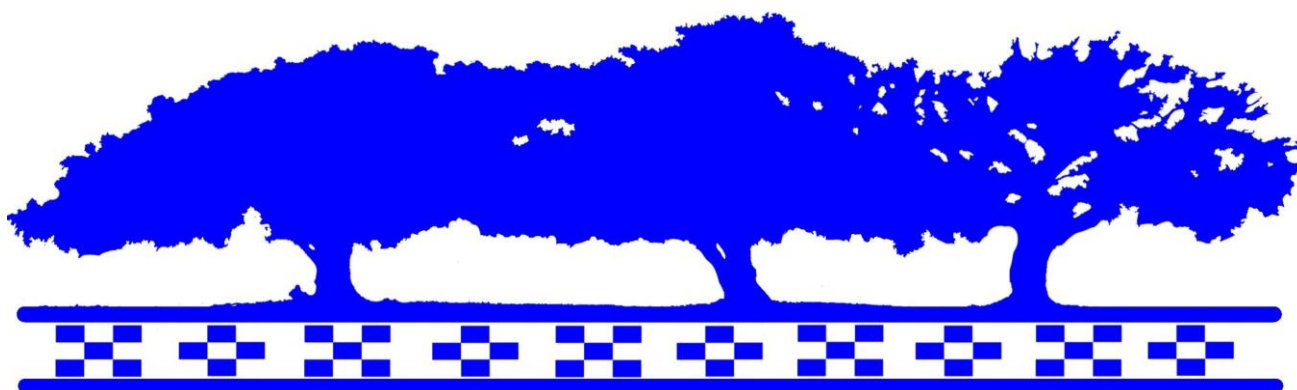
令和4年度

石垣市立白保小学校

自学自習の^{てび}手引き

～これまでの家庭学習から

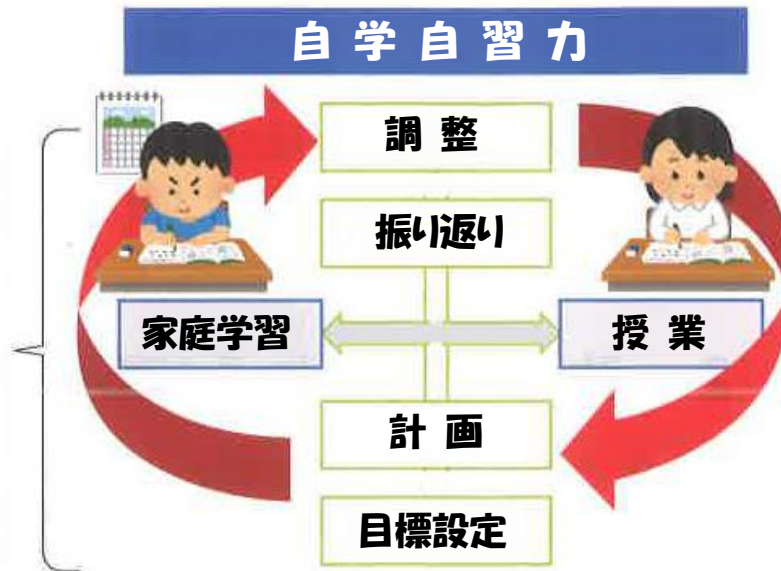
自分で計画して取り組む自学自習へ～



自学自習（家庭学習）について

1 自学自習とは

児童が目標達成に向けて、自分自身の現状を把握し、そのために必要な学習や訓練を計画し、自己調整しながら継続していく学習のことです。



2 自学自習力の必要性

沖縄県キャリア教育の基本方針では、「目標達成に向けて行動する力」として児童が主体的に学ぶ授業を通し、「学び方」を育成し、自律的な家庭学習へつなげる必要があるとしています。また、めざす児童像を「自分で考え、計画して、行動に移すことのできる児童」とし、目標を達成するために継続して努力する態度、自立して学習することのできる力の育成が求められています。

このことから、児童のキャリア発達を促すためには、「自学自習力」の育成は欠かすことのできないものと考えます。

3 学年の発達段階による自学自習に向かう姿

低学年	中学年	高学年
・宿題中心から少しずつ自分で計画した教科の勉強に取り組むことができる。	・宿題から自分で計画した教科の勉強だったり、自分が学びたい課題に自由に取り組むことができる。	・学校の教科の勉強や、自分が学びたい課題を、自分で計画を立てて取り組むことができる。

4 保護者に望む自学自習の関わり方

- 1 家庭でも学習することの必要性を子ども達に伝えることが大切です。
 - (1) 学習することの習慣づけ・・・無理なく継続していける習慣を形成する。
 - (2) 学んだことの定着、深まり、広がり・・・「分かりたい」と学習意欲を発揮する場面。
 - (3) 自分で学ぼうとする意欲の育ち・・・「分かった」という成功体験や「知りたい」が、「もっと知りたい」という気持ちへつながる。
- 2 学習意欲の継続のためには、保護者の方の声かけや励まし等の助言が大切です。

【低学年】（1～2年生）

自分では正しくやっているつもりでも、勘違いや誤ったまま終わらせてしまうことが見られます。そのため、家の方が○付けをし、間違いがあれば直させるなど、確実な見取りが必要となります。しかし、低学年の子ども達は意欲がいっぱいです。間違いを必要以上に責めるのではなく、適切に助言しながらやる気を高めさせていくことが、その後の学習活用に大いに役立つこととなります。

【中・高学年】（3～6年生）

比較的正確に自分の学習をふり返ることが、できるようになってきます。そのため○付けや間違い直しということよりは、保護者の皆様のこれまでの経験を踏まえながら、内容に関する、適切な助言をして頂くと有り難いです。そうすることで子ども達の学習も豊かに広がっていきます。

～保護者の皆さんに協力してほしいこと～

	プリント・ドリル	がんばりノート	日記	音読
低学年	○付け	○付け	コメント	サイン
中・高学年	サイン	サイン	コメント	サイン

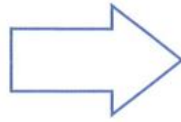
メモ

5 自学自習を効果的に進めるために

【1・2年生】 → 基本的な学習習慣をきちんと身につける。

【これまでの家庭学習の傾向】

- 学習の内容を先生が決める
- 先生が計画を立てる
- 先生が評価する
- 量の多さを重視
- 目標や自己評価がない



【目指したい家庭学習】

- 学習の内容を自分で決める
- 自分で計画を立てる
- 自分で評価する
- 質を重視
- めあて、振り返りがある

自学

学習の内容を自分で決めて、全部できるようになれば大丈夫です。

自分で計画を立てられるようにしましょう。

家族のアドバイスが必要です。声かけ、よろしくお願いします。

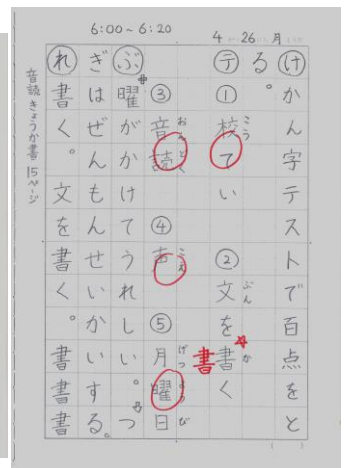
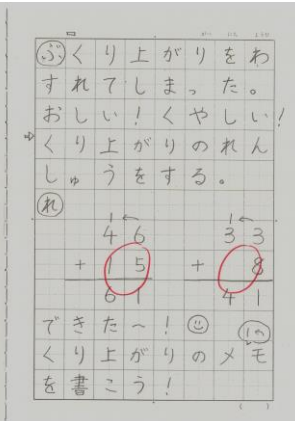
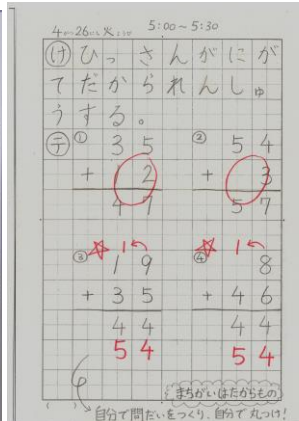
例：日記、音読、読書、写本、ゴロあわせ、文作り、おうちの人に説明してみる など

プリント作り

低学年のうち、学校からの宿題としてプリントやドリルを出します。

丸付けまで、よろしくお願いします。

* 自学自習ノート（例）



参考文献

- ・『自学自習ガイド』沖縄県教育庁 → インターネットで見られます。
- ・『マンガでわかる けテぶれ学習法』葛原祥太著、株式会社 KADOKAWA



【3・4年生】→自ら机に向かう姿勢を育てる。

宿題

自分の力に合った内容や量になっているか、確認し、取り組みましょう。(自学自習)

日記

様子がわかるように、くわしく書く。新聞を読んで書く日記にもちようせんしましょう。書いたら、家の人に読んでもらうのもいいですね。

～自学自習を始める前に～

- 学習前に、勉強する場所の整理整頓をしましょう。
- 学校からのプリント類を親にわたしましょう。
- 今日の学習内容を自分で決めましょう。

国語〔音読〕 ○毎日1回は声に出して読みましょう。

〔漢字〕

- 教科書や漢字ドリルなどを活用して、「はね、とめ、はらい」に気をつけてていねいに書きましょう。
- わからない言葉や漢字は、国語辞典や漢字辞典、タブレット等をつかって調べるようにしましょう。
- 詩を書いたり、物語をつくったりする学習にもちようせんしましょう。

〔読書〕

- いろいろな種類の本を選んで読みましょう。
- 家庭でも「読書タイム」をつくり、本に親しみましょう。

算数〔計算〕

- 計算手順が正しく身につくよう、毎日少しずつ計算しましょう。
- 筆算は位をそろえて書き、手順も確かめながら計算しましょう。
- 手順が長い計算も、集中して順番に計算していきましょう。
- 図形をかいたり、長さをはかったりする等いろいろな学習にも取り組みましょう。

社会 ○身近な地域(白保・石垣市)や沖縄県、都道府県、外国についてまとめましょう。

理科 ○昆虫や植物を観察してわかったことを書くようにしましょう。

☆その他にも英語やプログラミング、料理など興味のあることについて学習しましょう。

【5・6年生】 →自ら予定を立て、自力で学習を進める。

宿題

学校での学習をふり返りながら、教科書やノートを参考にして、予習や復習を中心に、苦手な内容もねばり強く取り組むように計画を立てられるようにしましょう。

日記

自分の一日のふり返りを、素直な気持ちで表現し、書く習慣を着けよう。

コメント

自分が立てた自学自習の計画を見直し、計画→テスト→分析→練習のサイクルがうまく起動に乗っているか、足踏み状態なのか、ひとことコメントで激励し、努力を見守るようにしましょう。

～自学自習を始める前に～

- 学習前に、勉強する場所の整理整頓をする。
- 学校からのプリント類を親に渡す習慣をつける。
- 宿題を自分で確かめ、やる順番を決める。

国語 [音読]

- 間を取りながら読むこと、自分のめあてを決めて練習しましょう。
- 詩や俳句、短歌などを暗唱したり、朗読したりしましょう。他の教科の教科書なども音読すると、重要な用語や内容を理解できるようになります。

[漢字]

- 漢字の構成や字形を意識して練習しましょう。
- 習った漢字を使って、熟語や短文を作りましょう。
- 国語辞典や漢字辞典の使い方に慣れるように手元におき、常に使用しましょう。

[読書]

- 偏らずにいろいろなジャンルの本を読もう。

算数 [計算]

- テストや宿題プリントで間違えた問題は、解き直しましょう。
- 答えの確かめを、必ず自分でしましょう。

社会・理科

- 百科事典、参考書、ニュースや新聞などの資料を活用し、気になったことを調べ、自学学習ノートにまとめよう。